

北新地とは

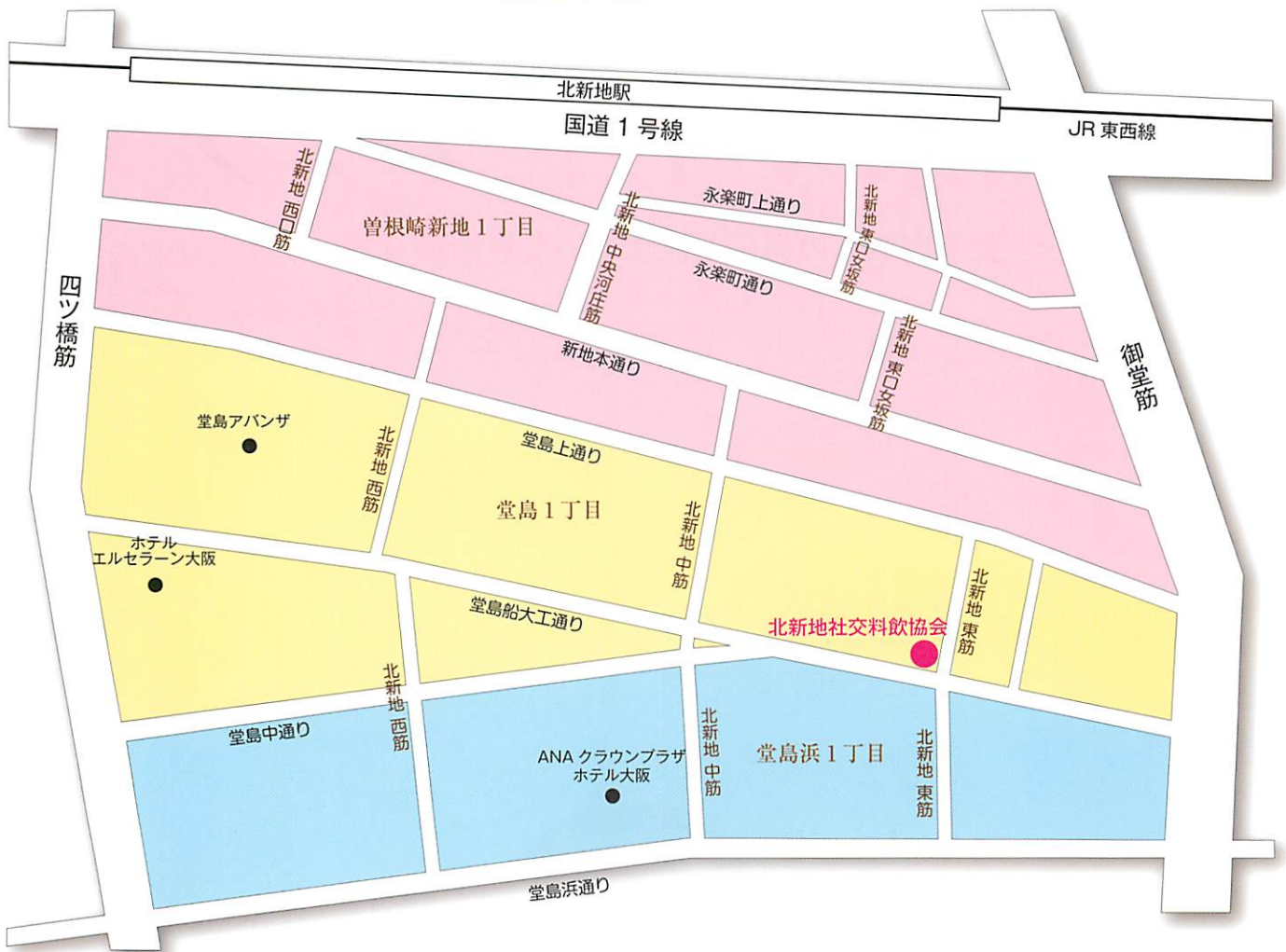
北新地の歴史は、江戸時代の元禄年間にまで遡ります。現在の新地本通りと堂島上通りの間には、堂島川から分流した曾根崎川（蜷川）が流れており、堂島川との中州を「堂島」と呼んでいました。

元禄元年(1688年)に堂島新地が誕生し、10年後には堂島の米市が設置され遊所地として栄えました。その後、曾根崎川の北岸が改修され曾根崎新地と名付けられました。

明治42年(1909年)、空心町を火元とする「北の大火」によって、瓦礫の捨場となった曾根崎川は埋められ、3年後に堂島新地と曾根崎新地が一体になり北新地が誕生しました。大正7年(1918年)には芸妓置屋11軒、席貸し153軒、芸妓825人と記録が残っています。

戦争によって2回目の焼失がありましたが、街はすぐに再建され、昭和30年代後半には高度成長期以降、社用を中心としたクラブ街へと姿を変えていきました。平成9年(1997年)、JR東西線開通にともなう新駅名「北新地駅」が誕生し、名実ともに日本有数の歓楽街となり、西日本最大の社交場となっています。

北新地MAP



北新地関連団体

- ・ 北新地商店会
- ・ 堂島連合振興町会
- ・ 堂島薬師堂奉賛会
- ・ KIC北新地情報センター
- ・ 天満防犯協会 堂島支部
- ・ 北新地不動産10社会

北新地社交料飲協会とは

北新地社交料飲協会は、大阪府社交飲食業生活衛生同業組合（OSR）の一支部です。

OSRは「生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律」（略して生衛法）に基づいて設立された厚生労働省管轄および大阪府認可の組合法人で、府内で唯一の社交飲食業の経営者による同業者組織です。全ての組合員の営業が安定・向上するよう、国や行政官庁に対して適切な行政施策の実施を要望すると共に組合独自の事業も積極的に推進しています。

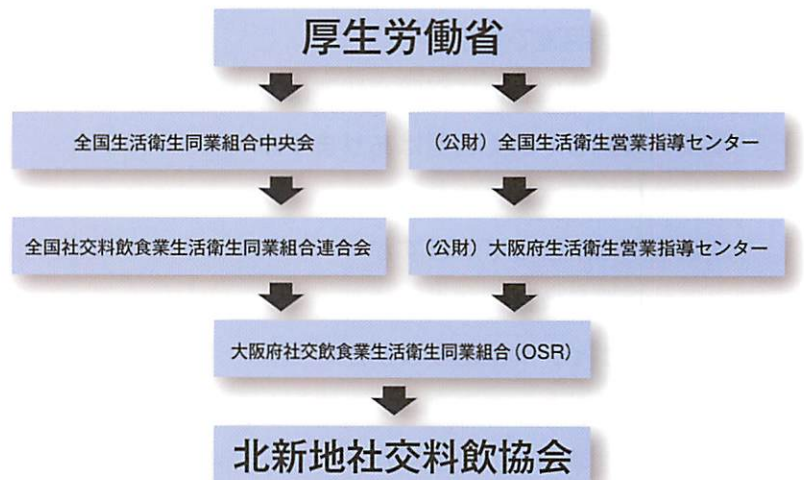
我が北新地社交料飲協会は、昭和37年に、天満バー組合として創立され、幾多の変遷を経て現在に至っています。この協会の目的と特色は、会員店の経営基盤の強化と人格の向上を図ると共に、会員店が皆「北新地」の冠を誇りとして営業し、地域の「安心と安全」を守りながら「北新地」の発展に貢献していただいていることです。また、会員には、北新地を代表する有名店が名を連ね、この業界の伝統と風格を重んじ、時代時代の「おもてなしの心」を追求しています。

お客様の安全と安心な街づくり、明日への夢を咲かせる街づくりにご協力ください。

北新地社交料飲協会 年間行事

- ▶ 1月8日 大阪天満宮 えびす詣招福行列
- ▶ 2月3日 堂島薬師堂節分お水汲み祭り
- ▶ 6月 北新地社交料飲協会総会
- ▶ 7月23日 天神祭北新地巡行
- ▶ 11月 ようこそ！北新地へパーティー
(偶数年度開催)
- ▶ 毎月第2金曜日 サイクルサポート(12月除く)

※上記は曜日などによって変更されることがあります。



生衛法・厚生労働省健康局

生衛法とは、昭和32年6月に制定された「生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律」のことです。

北海道から沖縄まで、各都道府県単位で全国47ヶ所に設置されている都道府県生活衛生営業指導センターは、生衛法に基づき設立されました。そして、生衛業の経営健全化と衛生水準の向上、消費者利益の擁護などを目的としながら、生衛業に係わる各種の相談指導事業、講習会事業、標準営業約款登録事業などを実施しています。

また、生衛法により、生活衛生関係営業者や、そこに属す従業員は様々なことで守られています。しかしながら、近年、生衛組合への意識の希薄化や入会する会員の減少により、組織基盤が脆くなっているのが現状です。

平成24年から厚生労働省健康局生活衛生課は、生活衛生関係営業者に対して、生活衛生同業組合への入会を促す通達を出しており、この通達を受け、北新地社交料飲協会では、飲食業の新規開店をスムーズに行い、生衛業を盛り上げるために、「北新地 開業ガイドブック」を作成しました。参考にいただければ幸いです。

関連団体

・公益財団法人 大阪府生活衛生営業指導センター <http://www.seiei.or.jp/osaka/>
・大阪府社交飲食業生活衛生同業組合 (OSR) <http://www.osk-shakou.net/>